



九条ブログはらまち

「はらまち九条の会」ニュース No. 3 4

2007(平成19)年8月27日(月)発行

<1928(昭和3)年8月27日は、戦争放棄を訴えた「不戦条約」成立の日>

第一次世界大戦の反省から、仏国外相ブリアンが提唱し、米国国務長官のケロッグが各国に呼びかけた「国際紛争の解決はすべて平和的手段により、一切の武力使用を禁止」の戦争放棄の国際条約。ケロッグ・ブリアン条約ともいい、64カ国が調印。しかし、理念的抽象的にすぎたため1930年代以降の非常事態には対処できなかったが、期限の定めがなく、今日でも効力があり約60の国が当事国となっている。日本国憲法第9条の源の条約の一つ。

この「九条ブログはらまち」(九条の会ニュース)がインターネットで見ることができます!

<http://sousou9.web.fc2.com> あるいは [相双地区九条の会フォーラム](#)

さらに→はらまち九条の会 で開いてください

「はらまち九条の会ニュースは『九条ブログはらまち』と名付け、ネットでも見ることができそうなのに見れなくてオカシイネ!」と言われてきましたが、このほどようやく、インターネットにのることができました。『九条ブログはらまち』の創刊からの全号だけでなく、相双地区の「相馬」「川高」「新地」「鹿島」「浪江」など他九条の会のニュースや報告が簡単に見ることができます。これは相双教職員九条の会・相馬市九条の会事務局の新妻慎一さん(相馬市)のお骨折りによるものです。この地区だけでなく、県内や全国の九条の会の活動の様子もインターネットでどうぞご覧ください。



オダネルのカメラ

▼ジョー・オダネル撮影
「死んだ弟を背負い
焼き場に立つ少年」



たくさんの感動の聲が寄せられ、奇しくも数日後オダネルの訃報も

九条ブログはらまち No.32 若松丈太郎さんの詩・佐藤ヒロ子さん戦争体験

○前号の「九条の会ニュース」32号(8月6日発行)に、若松丈太郎さんの詩「死んでしまったおれに」を掲載しましたが、郵送と同時に静かな感動の聲が寄せられています。「写真と詩を読みくらべ、涙が出ました」「若松先生の40年も前の教え子ですが、感動して何度も読み返しています」「すぐに東京の娘にコピーして送ってやりました」「本当にすごい詩で言葉もない」等々。ところがそれから数日後の8月12日、若松さんのこの詩の元となった「少年」の被爆写真の撮影者「ジョー・オダネル」の訃報がとびこんできて、不思議な思いにとらわれました。

▼8月12日付『朝日新聞』コピー

ジョー・オダネルさん(米国ネブラスカ州の作家)は、10日、脳卒中で死去した。85歳。米占領軍のカメラマンとして原爆投下後の広島、長崎に入り、被爆した市内の様子を撮影し、亡き弟を背負った被爆少年の写真を焼き場に立つ少年(ニューヨーク)の写真などを知

被爆した街撮影

○また、佐藤ヒロ子さんの戦争体験についても、「あの通信箋のことは、学校も先生方も、本当にひどい。戦争当時とはいえ狂っている」「私も終戦の頃福島市の銀行に勤めていて、あの朝の空襲を目撃しています」(東京都Sさん)等々の感想も。
○実は、会員の佐々木孝さんの著書「モ/ティアロゴス」の中に「遺骨を抱く少女」(昭和21年7月、断髪し痩せ細った少女が胸に母の遺骨を抱き、北朝鮮から奉天まで六百キロを歩いてきた)の文章が載っています。これは「オダネルの写真と若松さんの詩」とちょうど対照的な作品のように思えます。

- 若松丈太郎さんの詩が掲載されている原爆詩集は、「原爆詩一八一人集」コールサック社 ¥2,100 (電話03-5944-3258で直接ご注文ください)
- ジョー・オダネル写真集は、「トランクの中の日本」小学館

追悼

小田実さん

2007.7.30 死去75歳

小田実さんをご存知のように、40年前、ベ平連などの市民運動で活躍された活動家で、また全国に九条の会がうまれる「九条の会アピール」の9人のメンバーのひとりでした。

○「われわれはアジアを覇道で侵略し尽くした。われわれは、それをやめて王道でいくのだ、と憲法をつくり、その根幹に、すべての問題に対して軍事力は使わない、軍事力では解決しない、という憲法九条をつくったのです。」(岩波ブックレット『憲法九条、未来をひらく』)

※ 覇道は、武力や権謀を用いて国を治め、王道は儒家が理想とし、仁徳を本として行う政治思想。



11月中旬 学習会を開催

今年の秋の「原町あきいち」は開催されませんので、昨年のように街頭での「九条アピール」もできません。ふだんから希望の多い「学習会」を11月中旬に、どなたかにリピーターとして開催し、気楽な勉強会として開催する予定です。詳しく決まり次第、次のニュースでお知らせします。

同封のチラシのように、十月二十一日福島市で井上ひさし講演会が開催されます。事務局では入場整理券(500円)を二十枚、確保しようとして現在交渉中です。「憲法熱」の案内もご覧下さい。



9月市議会で採択されるでしょうか?

憲法全103条と同じ103名の入場者

＜南相馬市議会に提出の「9条を守る意見書」＞

8月11日・3度目の「日本の青空」上映会



「ニュースNo.24・24・28」で報告のように南相馬市内の「はらまち」「小高」「鹿島」「相双教職員」の4つの九条の会では、6月1日、南相馬市議会に「憲法九条を守ることを求める意見書」を提出しました。総務常務委員会で継続審議になっていましたが、いよいよこの9月に採択か、不採択かの結論がです。総務常務委員会の9名の議員さんの良識ある判断により無事採択されて、私たちの「憲法9条を守る」という意見が、国会(内閣総理大臣・法務大臣・衆参両議員議長)に届くことを願っています。会員の皆様も、委員会や議会の判断に注目し、できれば傍聴もしたいものです。

前回見逃された方や「製作協力券」をお持ちの方のために、小高区浮舟文化会館で3度目の「日本の青空」上映会が開催されました。原町にお住まいの方もたくさん入場され、入場者は103名でした。「103」の数は偶然ですが、憲法全文数と同じ数です。この映画の上映とともに、鈴木安蔵や憲法研究会が再認識され評価も高まり、「押し付け論」が改憲派の勝手な言い分で虚構であることが、国民に理解されつつあります。

事務局より

会員がもう341名に増えました!

9月9日9時9分、9条に乾杯

「はらまち九条の会」会員が、9月4日現在、341名(氏名公表可300・匿名41)になりました。原町区以外の方も増えています。また、今年の会費が郵便払い込みで連日届いています。ありがとうございます。

「この時間に、全国一斉に憲法9条を守る行動をしましょう」という運動が、北海道函館市から発信されました。私たちも、何か出来ることで、「手紙やハガキを書く」「黄色いものを掲げる」「勇気を出し九条の会のシールを車に貼る」「電話をかける」「自分で憲法全条を読んでみる」とか、態度で「護憲の思い」を自由に形にしてみましょう。

- パソコンで会員名簿の記録中、お名前が抜けてニュースなどを郵送しないで失礼した方がおり、深くお詫び申し上げます。充分注意していますが、もしも、そのような方にお気づきでしたら事務局員までお知らせください。
- この『九条ブログはらまち』がネットにのり、ホッとしています。でも元々の紙面が問題で、「文字が小さい」「記事の詰めすぎて読みづらい」「編集が下手」「写真が不鮮明」などの声を耳にします。なんとかして読まれるよう努力します。

「発行日が同じでもいいじゃないの?」
「この『九条ブログはらまち』は発行日がバラバラだけど、同一日でもいいじゃないの?」という声もありました。実は編集者の勝手な考えで、歴史的な事件の日を取りあげ、あえて発行日の年月日を1号ごと変えて、こだわりを持たせるようにしています。よけいなお世話かも知れませんが、ですから、発行日の後のことを載せて矛盾する場合もあつたりします。

新刊紹介 『憲法9条の思想水脈』 山室信一著・朝日新聞社・1365円
目から鱗の連続です! こんな丁寧な分かり易く、学問的でもしかし親切に、憲法9条や平和思想の成立を、克明に解説してくれている本を私は知りません。心から本当にお褒めの方書の一冊です

憲法9条の思想水脈
山室信一

- 事務局員連絡先** (市外局番は TEL0244) ……ご意見などお待ちしています!
- ・平田慶幸会長 TEL24-1211
 - ・山崎健一事務局長 TEL22-8631
 - ・井上由美(会計) TEL22-7511 FAX26-0892
 - ・石田賢二 TEL22-4037
 - ・早坂古彦 TEL22-0326
 - ・香場亮子 TEL22-0715
 - ・岡田光生 TEL23-1921

